



Nagoya GRAMPUS

名古屋グランパス ワイズメンズ クラブ

NAGOYA YMCA 1-2-7 HARUOKA CHIKUSAKU NAGOYA 464-0848 JAPAN

国際会長主題	輝かそう、あなたの光を
アジア太平洋地域主題	変革のための光となろう
西日本区理事主題	未来に灯そう（ともそう）希望の光り
中部部長主題	みんなで参画
クラブ会長主題	“Let's take it easy!” 気楽に行こう！ 気負わずに

がんばれ日本 がんばるワイズ

2023年7月号

<今月の聖句>

わたしたちは見えるものではなく、見えないものに目を注ぎます。見えるものは過ぎ去りますが、見えないものは永遠に存在するからです。 コリントの信徒への手紙

クラブホームページ <http://www.ys-chubu.jp/main/gburiten/grampus2023-2024.pdf>

2023年7月例会・他ご案内

@ 7月第1例会・一泊例会

と き：7月1日(土)～2日(日)
ところ：形原リゾート蒲郡ホテル別館

7/1 チェック IN 17:00

<http://www.gamagori.co.jp>...

18:00 うしお（海鮮料理）飲み放題

ホテルより徒歩1分

21:00 ミッドナイトミーティング

7/2 9:30～ キックオフミーティング

@ 7月第2例会

と き：7月日(水) 19:00～
ところ：ZOOM配信

@ 日和田学童キャンプ2023

と き：

1期 7月24日(月)～29日(土)

2期 7月31日(月)～8月5日(土)

ところ：御嶽日和田高原キャンプ場

・食事調理等の支援

・キャンプ場整備等

6月例会	例 会 出 席 状 況	B F ポイント	クラブファンド(月)
在 席 者	14名	第 1 例 会	10名
例会出席者	11名	第 2 例 会	-名
当月出席率	78.6%	そ の 他	5名
		累 計	-
		当 月 ・ 切 手	-
		当 月 ・ 現 金	-
		累 計	-

“TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIES EVERY RIGHT”

=強い義務感を持つ。義務はすべての権利に伴う=

会長挨拶・一年の抱負

“ Let’ s take it easy ! ”

気楽に行こう！ 気負わずに



会長 松原行謙

今年の5月に阿部前会長の計らいでイギリスに行けたことは非常に有意義であった。ひとつには世界をリードしてきたこの国に対する再

認識である。ふたつにはYMCAを設立したジョージ・ウィリアムスの故郷を訪ねることで、YMCAとワイズメンズクラブの黎明期に思いをはせることが出来、両輪のこれらの組織に対する再認識である。旅行という実体験は多くを学ばせてくれる。15世紀までのイングランドは、決して大国ではなかった。ところが16世紀後半イングランドは急浮上を始める。エリザベス1世の時代に、のちの大国イギリスの基礎が築かれていく。なぜだろうか？その歴史的考察はまたの機会に譲ることにする。

時代は下り、18世紀世界でいち早く産業革命を成し遂げたわけだが、もちろん16世紀から紆余曲折はあったにせよ、連綿と続く礎があったのだが、なぜイギリスだったのだろうか？日本や中国ではなかったのか？この歴史的考察もまた面白い。そしてジョージ・ウィリアムスはイギリスの歴史の必然的な産物としてYMCAを設立したのだろうか？エリザベス1世とジョージ・ウィリアムをひとくくりに論ずることは野暮だが、両者に共通することは、“強い危機感を肌で感じた。そしてそれを克服するための考えを鮮明に結晶化した。そして心に描いた目標を、強固な意志を持って不断の努力を惜しまず成し遂げた。そしてそれに加えて周りの人々の賛同と協働があった。” ということは言える。



上記のことと、私の一年の抱負とスローガンには実は関係がある。“ Let’ s take it easy ! 気楽に行こう！ 気負わずに、がしかし内に秘めたる闘志を持ってことにあたる”。それを支える言葉として“ Let’ s go little by little ぼちぼち行こう！” “ Let’ s make constant efforts たゆまず努力をしよう！” 私たちに本当に強力な危機感はあるのだろうか？ まずそこから初めてみようかな。

一年を振り返って

「名古屋グランパスワイズメンズクラブ

設立 30 周年」を終えて

直前会長 阿部一雄

今年の主題を「楽しむぞ！ ワイズ生活のある暮らし」と題し、2022～2023 年度活動を計画し、実施してきました。皆さまもご存じの通り、グランパス設立 10 周年、20 周年、今回の 30 周年と周年会長を 3 度務めてきました。今回も皆さまのご支援、ご協力のお陰で、計画通り活動を実施することができました。本当にありがとうございました。



今から考えると 10 周年は中部部会を周年記念事業として企画、ホストしました。20 周年は韓国サンドルクラブ訪問を周年記念事業として企画、開催致しました。今回は「ジョージウィリアムズを訪ねる旅」として 30 周年記念を行うことが出来、私にとってワイズメンとしての原点を見つめる良い旅となりました。参加されたグランパスメンバー、メネットも同様の想いを抱いて頂いたと確信しています。

また、故坂倉洋ワイズがつないでくれた東稜クラブとの合同例会も盛会となり、交流が深まったと感じています。故人の想いを大切に、今後も続けていきたい事業です。



グランパスには多くのリーダー経験者が所属していることから、昨年の寄付をきっかけに「日和田キャンプ場活用策」を 1 年かけて皆さんと討議したりし、考えてきました。3 度/年日和田キャンプ場での例会を年度行事に組み込むなどし、実際にクラブメンバーがキャンプ場へ足を運ぶ機会を設けてみまし

た。本年 6 月の第一例会に中村総主事をお招きし、活用状況を話し合いました。その結果グランパスが主体となり、委員会と協力しながら引き続き活用策を討議することで方向性が定められ、一定の成果が得られたと思います。

私はクラブにチャーターメンバーとして加わって以来、新しい会員をクラブへ招くことが出来ませんでした。そうした意味ではクラブに協力できませんでしたが、私はクラブに自分自身が積極的に関わることで貢献を果たそうと考え、活動を行ってきました。今年度会長を拝命した時に、私もそうですが、クラブの皆さん、家族にもワイズのある生活を楽しんでもらおうと思い、企画を立て活動してきました。聖書に「自分を愛するように、隣人を愛す」と言う聖句があります。私はこの精神をいつも忘れず生活しています。自分のことだけでなく、周りの人の幸せをいつも祈っています。



皆さん今年度は楽しんで頂けたでしょうか！ 楽しんで頂けたなら幸いです。

1 年間ありがとうございました。これからも微力ながらクラブのために努めていきますので、どうぞ宜しくお願い致します。

YMCA により

7 月＞

7/8～9 オープニングワーク(日和田キャンプ場)

7/24～29 学童キャンプ I 期(日和田キャンプ場)

YMCA 大会＞

日にち:9/9(土)

時間:9:30～13:30 ごろ

会場:KKR ホテル(仮)

内容:礼拝・講演・表彰・立食スタイルのグループ討論(仮)

詳細、追って連絡致します。



名古屋グランパスクラブ
担当主事 福田 樹



開催月日:6月10日(土)～11日(日)

開催場所:熊本城ホール・ホテル日航熊本

参加者:松原+メネ、早川+メネ、服部+メネ
荒川+メネ

早川 政人

6月9日の前夜祭から始まり11日迄の開催でした名古屋を9日の朝出発し大阪で乗り換え九州新幹線(さくら)で熊本には午後1時頃に到着、熊本駅から市電で市の繁華街近くのホテルへ着き、休憩しクラブメンバーと合流夕食は服部夫婦・松原夫婦・荒川メネットと我々夫婦で(料理屋八)にて賑やかに飲み、食べ満足の夕食で終わり帰りにお茶をするつもりが喫茶店も終わり、カラオケ大会で盛り上がり、楽しい時を過ごしました。翌日の10日は熊本城ホールで西日本区大会が始まりました。代議員大会の見学では次期の大会の参考になる様になりました。議題は肅々と進み全てが賛成多数で承認され午後の大会に入りました。



午後1時から区大会が始まり、田上理事の開会点鐘とバナーセレモニーと続きました。グランパスは次期会長の松原ワイズが阿部会長に変わり壇上に進み紹介を受けました。その後のプログラムはスムーズに進み中部の山内中部部長の部長報告・富山クラブ清水Yサ主任の事業報告もありました。

日航ホテルに場所を移動し懇親会が始まりワイズの顔なじみのメンバーとも久しぶりに顔を合わせて賑やかな懇親会でした。色々な出し物で盛り上がりを一層見せてくれました。

27回西日本区大会のアピールは服部ワイズ一家の力作の兜をかぶり大々的にアピールが出来ました。



うことが大きな目的でした。次の中部の大会は今後の新しい大会の形を提案していこうと、実行委員会で討議していることも要因の一つです。今後の委員会でその形を検討していくこととなります。



もう一つの大会参加の目的は、その名古屋大会のアピールです。名古屋と熊本の歴史的関係から、徳川家康と加藤清正に扮し、大会機運をあげていく演出を行いました。しかしながら十分な時間がいただけず、消化不良に終わってしまったのが残念でした。今後なんとかリベンジしていきたいと思います。

最後に名古屋大会を成功させるには、中部一丸となつての支援が不可欠です。新年度に入り今後具体的な準備に入りますので、グランパスを始め、中部の皆さんには協力をよろしくお願いいたします。



認められた私たちの活動

荒川恭次

これまでもグランパスクラブはYMCJAサポートクラブとして、その活動内容は西日本区内でも良く知られています。区内ではコロナ禍の影響で全体に活動が低調になっていましたが、名古屋YMCJAと協働する名古屋4クラブが戸田川ワイワイフェスティバル、日和田火祭り、正にY職員、Yリーダー、Ysメンが協働した活動が認められて「最優秀クラブ賞」を受賞しました。部内4クラブが同時最優秀賞は初めてです。これは全く予想しない出来事でした。事前案内がなかったので表彰壇上に誰が上がるのか即断を迫られました。油断大敵とはこのことです。でも何とか壇上で3クラブの代表が記念写真を撮ることが出来ました。大変大きなお土産となりました。これを契機に日和田キャンプ場の活用等皆で考え、人の集まるイベントを開催し、仲間を増



九州部の寸劇の衣装には負けましたが……。？ 懇親会も終わり服部・松原・早川各メネットと合流し、ホテルのラウンジでお茶と雑談で遅く迄楽しみました。11日の大会後半が始まり各役員の引き継ぎがあり、いよいよ名古屋クラブの深谷ワイズが2023年～2024年度の理事として活動が始まります。区大会も名古屋で開催します。ワイズメンズクラブオール中部でサポートをするのは勿論です。此の一年は深谷理事の元頑張ります。区大会終了後に元理事古田ワイズ期の役員さんとの食事会が行われて同窓会の雰囲気も味わい親交を深め帰路に着きました。



西日本区大会熊本でPR

服部庄三

今年度の熊本で開催された西日本区大会は私にとって、いや、中部にとって重要な大会となりました。と言うのも来年度の大会は中部で開催されることが決まっており、その実行委員長を私が仰せつかつているからです。深谷次期理事を支援し、無事大会を成功させるため、今回の熊本大会を参考にさせてもら

やりたいと思うのは私だけではないと思います。



さて、今回の大会は前夜祭からの参加です。ワイズの醍醐味は交流です。西日本区の仕事を与えられるようになって、おのずと交流する仲間も増えました。職業・住居地域環境・地域文化もそれぞれ違いますが活動目的は同じです。だから誰とでも話ができます。大きな組織だからこそできる楽しみだと思います。残り人生どう過ごす？と考える暇はありません。忙しいワイズ活動を最後まで続けます。

というわけで、良い機会と捉え今回は事前に鹿児島で黒豚とんかつとシロクマアイスを楽しみ、大会後は門司港で海の幸を大いに楽しみました。



ホンモノのクマモンでした

日和田キャンプ場区画調査



吉田一誠

日和田キャンプ場の区画を明らかにして地図上でわかるようにしたいというのは長年の願望でしたが、この6月に足掛かりとなる調査を行うことがで

きました。40万平方メートルを超える名古屋YMCA日和田キャンプ場ですが、どこが境界かを明確にわかるわかる地図はありませんでした。(これはいろいろ理由があるようですが、山の中は街の中の境界とは全く事情が違うということです。今回それがよくわかりました。)

40年ほど前にYMCAが購入した当時から地域の森林組合で働かれています方のご協力がいただけることとなり、今回の区画調査が実現しました。調査の初めはキャンプ場入り口付近から始まり境界と思われる、谷筋、尾根筋、道なきみちを生い茂る笹をかき分けるまさに藪漕ぎ！終わってみればおよそ4時間、10数キロ、標高1400mの高地を下ること約250m、登ること約250m、御嶽登山並みの私にとっては苦行でした。

苦行の結果 1、さすが40万平方メートルは広い！2、広い割には今利用している所以外の平地はほとんどない。(つまり利用できる場所は少ない)ということを知ることができました。

ともあれ、この調査をもとになんとか区画地図作りに進めればとおもいます。このことについては他の皆さんから報告があるでしょう。



こんなところをよくも買うに買ったり？売るにも売ったり？ため息もでしたが、現状が明確になるとともに、これからどう活用していくか、大きな課題も与えられました。幸い日和田への人の集まりは増えつつありますし、世の中はキャンプブーム？！みんなで知恵を出し合って、後世に引き継げる形を造りたいものです。



日和田キャンプ場区画調査

信田伊知郎

6/3, 4 と日和田キャンプ場でどの範囲までが YMCA の所有地を調査。

私は調査隊の食事を担当することに。
途中の道の駅で山菜などを購入する予定でしたが高速道路の渋滞で遅くなってしまい、道の駅での山菜購入はあきらめて途中のスーパーで買い出しに。
日和田到着前に松坂さんのお宅に訪問をして、挨拶がてら独活の新芽などを分けてもらい山菜をゲット。
松坂さんいわくこの時期に山菜も露地栽培も収穫できるものが少ないとのことでした。



夕飯のメニューは小イワシのから揚げ、玉ねぎ・しめじに山菜の炒め物、野菜と山菜・イワシ・アナゴの天ぷら、坂口功祐氏から頂いた魚を使ったあら汁と、アラの煮つけ。

天ぷらは卓上コンロを準備してその場で揚げながらアツアツを食べました。

翌日は以前役場にいたころ日和田キャンプ場の土地に関わっていらっしゃった大家さんに案内してもらい、地図を見ながら YMCA の土地の境目をそれぞれ調査確認して、各要所に印をつけて回りました。
途中に沢が流れていたり、崖に近いところを歩いたりとなかなかスリリングな山歩きで、少し前にそのあたりで遭難した人もいたとのこと。大家さんや松坂さんに山の中で迷わないか聞いたところ、その場から見えるほかの山との位置関係から自分の現在地が分かるので迷うことは無いそう。



途中倒れていたお地蔵様をみつけて元の位置に戻したりと、場所によっては以前人の痕跡があったであろう場所が何カ所もありました。

キャンプ場の敷地の境目を探しながらおおよそ三時間、標高差 300mほどの行程でした。

おまけ

キャンプサイトから少し入ったところにロウソクで作られたような花がひっそりと咲いており、松坂さんに聞いたところ「幽霊茸」と呼ばれるギンリョウソウとのこと。

高山で腐葉土を栄養に育つ葉緑素のない植物で、妖しい雰囲気を持つとてもきれいな花でした。



6 月第一例会議事録

開催月日：6 月 15 日（木）19:00～

開催場所：YMCA 本館・ZOOM ハイブリット

参加者：阿部 早川 松原 荒川 坂口 吉田
三井 高田 服部 福田

欠席者：下村 原 信田

ゲスト：中村名古屋 YMCA 総主事

進行：阿部

1 日和田キャンプ場の今後について 中村総主事

- ・リーダーのみで 2022 年中高生キャンプを企画、この時に作成されたビデオを鑑賞する。
- ・リーダーらはこれまでの学童キャンプらのプログラムについては評価している。
- ・火祭りを含めユースリーダー、ワイズらの参加で印象が良かった。
- ・中村総主事より今後、リーダー、ユースがキャンプ場を担っていくのがベストとの考えを説明。
- ・キャンプ場について現状の運営等について説明
今までのキャンプ場利用者数、改修経緯の説明
敷地は 13 万坪あり全てを管理できず特に西側半分は手を付けられず今後も整備はできない見込み。今後は本館、名星舎から B サイドまでの東部地区に集約すべきと考えている。
- ・今後、日和田キャンプ場本館らが老朽化し宿泊等の使用に影響が出てくるのであればコストが大きくなる日和田キャンプ場再整備を断念し東山荘に集約する事になる。
- ・参加者よりキャンプ場についてそれぞれの意見を聞き今後も日和田キャンプ場活用についてクラブとして積極的に関わっていくことを確認。

2 イギリス訪問報告 松原

一泊例会 2 日目に詳細を報告

3 1 泊例会 7/1(土)～2(日) 蒲郡 松原新会長
伝助 の再確認。

<https://densuke.biz/list?cd=4Jw5b6wm5bygbYwz>

4 第 27 回西日本区大会準備委員会 服部
大会開催を 1 日間に短縮して名古屋市公会堂で開
催予定として計画が進んでいる。

5 YMCA より 福田樹主事
・ 7/8・9 オープニングキャンプ予定
クラブ支援は予定していない。

・ 火祭り、クローズキャンプについて日程は未定
6 日和田ワイズコーンについて 阿部
日本区の方々にも案内出すが、荒川君より個別に
案内するとし価格設定と集金専用口座について検
討することに

7 その他
・ 6/11(金)～11(日) 第 26 回西日本区熊本大会
参加者より報告
・ 東陵クラブよりの提案されている 8 月 26. 27 日
開催予定としている東陵クラブとの合同例会に
ついて詳細内容は後日、松原新会長より案内。

8. プリテン依頼
新年度会長挨拶 松原次期会長
年度を終えて 阿部会長
第一例会議事録 三井君
日和田キャンプ場区画調査 信田君、吉田君
西日本区大会 服部君、早川君、松原君、荒川君
YMCA 便り 福田君
・ 締め切り 27 日必着

今 後 の 予 定

- ・ 8/ 2 (水) 19:00～ 8 月第一例会
- ・ 8/23 (水) 19:00～ 8 月第二例会

そ の 他

1. 7 月の誕生日

happy birthday

坂口 久美 (6 日)
三井 敬子 (1 7 日)
早川 弘美 (2 7 日)



2. 例会等出席状況

	氏 名	6 / 15 第一例会	6 / 10 11 西日本区大会	/	/
1	阿部 一雄	○			
2	荒川 恭次	○	○		
3	坂口 功祐	○			
4	信田伊知郎				
5	下村 明子				
6	高田 士嗣	○			
7	服部 庄三	○	○		
8	早川 政人	○	○		
9	原 晃				
10	福田 樹	○			
11	坂野清治(休会)				
12	松原 行謙	○	○		
13	三井 秀和	○			
14	吉田 一誠	○			
	ゲスト	1	4		
	計	11	8		

3. 2023-2024 年度クラブ体制

役 職	氏 名	役 職	氏 名
会長	松原行謙	監査	吉田一誠
副会長	高田士嗣	Y サ・ユース	阿部一雄
書記	服部庄三	Y サ・ユース	坂口功祐
会計	早川政人	Y サ・ユース	原 晃
直前会長	阿部一雄	地域奉仕・環境	下村明子
地域奉仕・環境	信田伊知郎	広報・プリテン	三井秀和
EMC	早川政人	広報・プリテン	荒川恭次
EMC	高田士嗣	メール委員	荒川恭次
ファンド・交流	服部庄三	担当主事	福田 樹
ファンド・交流	松原行謙		

学童キャンプ2023

2023年 **1期** 7月24日(月)～29日(土) 2023年 **2期** 7月31日(月)～8月5日(土) **5泊6日15食**

標高1400mに位置する日和田高原キャンプ場は、夏でも涼しく星がとてもきれいなキャンプ場です。規則正しい生活の中で、ごはんをたくさん食べ、たくさん寝て、豊かな自然の中で思い切り遊ぶことができます。また、午前中の学習の時間では、分からないことがあったらYMCAの指導者がお手伝いをいたします。安心できる環境の中で、子どもたちの様々なチャレンジを応援します。

- **場 所** YMCA日和田高原キャンプ場 岐阜県高山市高根町留之原1752-71
- **対 象** 小学生
- **参 加 費** 60,500円(税込) ※参加費減免制度については裏面をご確認ください。
- **定 員** 各期30名

〔協力 名古屋YMCA賛助法人〕

有限会社愛知こどものとも社／株式会社イズミック／岡谷銅機株式会社／学校法人金城学院／株式会社中島建築事務所
後藤・鈴木法律事務所／敷島製パン株式会社／タイガー総業株式会社／大同メタル工業株式会社／中部日本放送株式会社
オリエンタルビル株式会社／東海窯業原料株式会社／豊田通商株式会社／ホーユー株式会社／株式会社linkworks
六合株式会社／日研オフィスシステム株式会社／日本タスポニー協会／日本特殊陶業株式会社／丸丹スポーツ用品株式会社
株式会社マルワ／株式会社テツタニ／株式会社矢場とん／株式会社ロイヤル(順不同)
特別寄付金：中部ウォーカーソン／名古屋ロータリークラブ(順不同)



National Institution For Youth Education
公益財団法人 国立青少年教育振興機構
「子どもゆめ基金助成活動」

体験の風を
おこそう

名古屋YMCA夏休みプログラム

キャンプ・日帰りプログラム・集中体操教室・サッカー・イングリッシュ

☎ 052-757-3331

名古屋YMCA 検索

